41日上2.09	CAD 1 021	la sa		11 D &	llaa	Honors Meeting I						
	AR-1-021-hp 額 崇			科目名	-							
概要	西舘 崇 開講年度学期 2020年度 前期 単位数 1 本授業は、オナーズ・プログラムの一貫として開催されるクラスであり、1年生から4年生までのGlocal Honors生が一同に会し、それぞれの学びの深化を図ると共に、グローカル・リーダーとしての資質を、主に(1)各オナーズ演習での課題等を協働して取り組むこと、(2)各種テーマにつき学生が主体となった討論を行うこと、(3)学内外への発表・報告などの準備を上級生と下級生が互いに相互検討・精査しながら行うこと、によって身につけます。オナーズミーティング「では、本学園の基本理念である「共愛・共生の精神」を学びつつ、海外研修をはじめ、国内外の幅広い知識に触れることで、グローカルな思考を総合的に学ぶことを補足することを中心に行います。また本演習では、上級生らと共に、3年次、4年次に行われるゼミ学習へ向けての基礎として、物事を筋道立てて考える方法や、数字を用いての分析技術など、課題設定及び課題解決に必要なスキルについて、実践的かつ主体的に学びます。											
到達目標	オナーズミーティングIの到達目標は、(1)グローカル演習Iにおける課題を確実にこなしながら、履修者個々人の問題意識・問題関心を深めることができる、(2)上述(1)の過程において、異なる学年の学生たちとの学び合いを通して、関係を構築する力や協働する力を身につけることができる、(3)履修者個々人のグローカルオナーズ生としての目標を実現すべく、問題に対応する力(分析し、思考する力、構想し、実行する力、実践的スキル)をさらに磨くために、協働して課題発見・課題解決へ向けた学習に取り組むことができること、の3点です。											
		自律する力		コミュニケーションカ		問題	問題に対応する力					
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		○ 分析	、 思考する力					
共生のための態度	0	自己を抑制する力		協働する力		構想	、 実行する力					
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築す	る力) 実践	的スキル					
教授法及び課題の フィードバック方 法	本授業は、グローカルオナーズ生全員が主体的に演習の内容・中身を作り、自分たちで毎週の学修活動 を行うものです。											
アクティブラーニン	グ	サービスラーニン グ				課題解決型学修						
受講条件 前提 科目		受講条件は、(1)グローカル・オナーズ生として入学した者、あるいは(2)入学後における履修選抜試験に合格した者、です。										
アセスメントポリ シー及び評価方法	オナーズミー	オナーズミーティングにおける活動内容や学修状況、成果物を総合的に判断し、評価します。										
教材	文献・資料を	文献・資料などを適宜紹介、配布します。										
参考図書	文献・資料を	文献・資料などを適宜紹介、配布します。										
内容・スケジュー ル	学修活動内	学修活動内容については、学生とTA、指導教員との間での話し合いにより決定します。										

Number	CAR-1-021-hp	Subject	Honors Meeting I						
Name	西舘 崇(Nishitate Takashi)	Year and S emester	First semester for 2020	Credits	1				
Course O utline	This class is designed for all honors students—from first-year students to seniors. It encourages students to help each other learn in the honors program, acquire basic academic skills, and desig n and carry out research papers and presentations. The honors students meet and work togethe r in one classroom. Senior students are expected to act as teachers and coaches since no profes sor is assigned to this class.								